

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 **新** デジタル技術導入による教員研修オンライン化整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 教科教育第一係 電話番号：058-272-1111 (内 3697)

E-mail: cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,653 千円 (現計予算額: 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,653	0	0	0	0	0	0	0	4,653
決定額	3,619	3,619	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・コロナ禍により教員のオンライン研修が増加。アフターコロナにおいても、研修の効率化の観点からオンライン研修の継続・充実が必須となる。
- ・ICTを有効活用した授業モデルの普及を図る等、実際の授業に基づく研修をオンラインで実施するためには、専用機材の整備が必要である。

(2) 事業内容

- ・オンライン上で、受講者が教員と児童生徒、児童生徒相互のやりとりをリアルに捉えることができるよう、発言者への自動フォーカスや360°対応等の機能を有したカメラを整備する。
- ・受講者が実際に教室にいるかのような臨場感を得ることができるよう、児童生徒の声を的確に拾い映像と音声の一体感を生む、高品質マイク&スピーカーを整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費等	4,653	360°対応カメラ及び周辺機器
合計	4,653	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標26 ICTの環境整備と利活用の推進

(2) 国・他県の状況

- ・「学校教育の情報化の推進に関する法律（令和元年6月）」において、情報通信技術を活用した効果的な教育方法の普及、情報通信技術の活用による教育方法の改善及び情報教育の充実並びに情報通信技術の活用による学校事務の効率化を図ることが求められている。
- ・『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（中央教育審議会答申）（令和3年1月）」において、遠隔技術を活用して教員研修や各種会議を実施し、学校における働き方改革の推進を図ることが求められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和3年度内及び次年度以降において、整備した機材を活用し、各地区におけるICT活用推進実践フィールド校の授業及び、ICT活用推進委員による授業等に基づく研修をオンラインで実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
オンライン公開授業の実施回数	0回			0回	100回	%
	(R2)	(R3)	(R4)	(R2)	(R3)	

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

--

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

--

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	ICTを活用した授業モデルの普及を図る教員研修等を充実させることが必要で、コロナ禍においては感染拡大防止のため、コロナ収束後においては研修の効率化の観点からオンラインでの実施が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	カメラ・マイク・スピーカーを一体的に整備するとともに、地区別研修や複数授業の同時公開等に効率よく対応できるよう地区用と共用のセット数を最小限にして整備している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 整備機器の更新

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナウイルス感染症の感染状況等に応じて、整備機器を活用していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】